

科目名	キャリアデザインⅡ				
担当教員	馬場 秀憲		実務授業の有無	なし	
対象学科	全科	対象学年	2、3年生	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数		時間数	130
授業概要、目的、授業の進め方	社会人になる前の心と体の準備を行う。自身の将来を考え、企業でどのように活躍していきたいかなど考える。目標を立て、そこに向かって学生時代に行うことができることを精一杯行う。				
学習目標 (到達目標)	最終学年としての自覚を持ち、社会人としての人材育成を行う。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	スタディサプリ、その他プリントなど				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1～6	学校生活のルールを改めて理解する。新しいクラスの友人とコミュニケーションを図る				
7～18	就職活動の進捗状況を担任と確認する 内定者は、次の目標について考える				
19～30	自分を理解し、今後のキャリアデザインを考える				
31～40	1年生との交流を図る。				
41～46	業界に対する理解をセミナーを通して深め、モチベーションを高める				
47～52	様々なイベントをお互いに見学しあい、刺激しあう。 それを自身のイベントに活かす。				
53～64	卒業制作に向けての準備を行う				
65～70	前期を振り返る。最後の学生生活であることを意識する。				
71～74	後期の動機付け、後期目標設定、シート記入				
75～78	卒業までの残りを実感し、何をすべきか考える				
79～82	業界に対する理解をセミナーを通して深め、モチベーションを高める				
83～86	学年イベント（祭事を知る）				
87～90	進級制作リハーサル見学				
91～100	卒業制作に向けての準備を行う				
100～125	年明けのスケジュール確認				
126～128	クラス交流				
129～130	学生生活の振り返り、まとめ				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
出席率50%、学習意欲（授業態度）50% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・F(59点以下)とする。※F評価者は追試合格後、D評価となる。			社会人になるまであと1年もないということを自覚して、後悔のないように1回1回を大切に考えながら進めること。		
実務経験教員の経歴	葬祭ディレクターとして現場に8年間携わった。				

②

科目名	ビジネス実務Ⅰ				
担当教員	小林 美江		実務授業の有無	×	
対象学科	全科	対象学年	2、3年生	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数		時間数	25
授業概要、目的、授業の進め方	1. 社会人・職業人として大切な心構えと習得しておくべき基礎能力を習得する。2. 過去問題を多用し、試験内容を解く上でのテクニックも学習する。				
学習目標 (到達目標)	ビジネス能力検定 ジョブパス2級 合格				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	ビジネス能力検定ジョブパス2級 テキスト・問題集				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1 2	検定取得の意義 ビジネス用語の習得		講義 課題		
3 4	2-1 仕事の進め方		講義 確認問題(問題集にて)		
5 6	2-2 ビジネス文書の基本		講義 確認問題(問題集にて)		
7 8	2-3 統計・データのまとめ方		講義 確認問題(問題集にて)		
9 10	2-4 情報収集とメディアの活用		講義 確認問題(問題集にて)		
11 12	2-5 会社数字の読み方		講義 確認問題(問題集にて)		
13 14	2-6 ビジネスと法律・税金知識		講義 確認問題(問題集にて)		
15 16	2-7 産業と経済の基礎知識		講義 確認問題(問題集にて)		
17 18	過去問題 3-1		小テスト		
19 20	過去問題 3-2		小テスト		
21 22	過去問題 3-3		小テスト		
23 24	過去問題 3-4		小テスト		
25	検定				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
出席率70% 学習意欲10% 検定合格20%					
成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			模擬問題を受けた後、出来ていない問題を中心に復習を行うようにすること。		
実務経験教員の経歴					

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名		ビジネス実務Ⅱ			
担当教員	小林 美江	実務授業の有無	×		
対象学科	全科	対象学年	卒年次	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数		時間数	10
授業概要、目的、授業の進め方	<p>1. 実社会での仕事は、自分自身、社会の人、お客様、取引先といった周囲の人と関わりの中で進んでいることを認識する為、ビジネスマナーを習得する。</p> <p>2. 机上の学習だけでなくロールプレイングを多用し、日常生活でも実践できるよう図る。</p>				
学習目標 (到達目標)	会社組織のしくみと人間関係、来客対応、電話対応、訪問のマナー				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	プリント対応				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	社会人としての心構え 職場での基本的マナー 職場の人間関係		講義 グループワーク		
2	来客対応：接遇の意義と重要性 受付対応の基本用語 刺の受け取り方		講義 ロールプレイング		
3	案内の要領：廊下 エレベーター 応接		講義 ロールプレイング		
4	お茶の出し方 見送り 応接の管理		講義 小テスト		
5	電話対応：注意点 受け方の基本 電話対応基本用語		講義 ロールプレイング		
6	対応電話：伝言メモの作成 電話のかけ方		講義 ロールプレイング		
7	電話対応テスト		ロールプレイング形式		
8	訪問のマナー：訪問の準備 交通手段に関する知識 接室でのマナー		講義 ロールプレイング		
9	自宅への訪問の心構え テスト準備		講義		
10	まとめテスト				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
模擬試験70%、学習意欲30% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			各自ロールプレイングを何度も行うことで、体得するよう心掛ける。		
実務経験教員の経歴					

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	業界セミナー				
担当教員	高橋 香織	実務授業の有無	○		
対象学科	全学科	対象学年	全学年	開講時期	通年
必修・選択	選択	単位数		時間数	10
授業概要、目的、授業の進め方	第一線で活躍している業界人からの講演会				
学習目標 (到達目標)	自分の目標を定める。視野を広げる。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	特になし				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	新入生、進級生別自己啓発講演会		プロジェクター、振り返りシート		
2					
3					
4	学科、コース別一流業界人講演会		プロジェクター、振り返りシート		
5					
6					
7	全校統一講演会 未来を考える		プロジェクター、振り返りシート		
8					
9					
10					
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
出席率50%、学習意欲50% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			普段会えない人の話を聴き、視野を広げましょう。		
実務経験教員の経歴	ドレススタイリストとして現場に10年間携わった				

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	実践行動学Ⅱ				
担当教員	馬場 秀憲		実務授業の有無	○	
対象学科	全科	対象学年	2・3年生	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数		時間数	5
授業概要、目的、授業の進め方	1. 実践行動学Ⅰで学習した内容を踏まえ、1年間の振り返りを行う 2. 働くことへの意識を気付き→認識→一般化→応用という手法をとりいれ、個人作業・ディスカッションなどを通じて理解を深める				
学習目標 (到達目標)	社会人へでの準備→2年後の目標→ライフプランへと段階を経て、将来の自分を具現化させる				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	実践行動学研究所 実践行動学				
回数	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考	
1	パート3 マジックドア1 入学から今日までの成長を実感する			個人作業・グループディスカッション	
2	パート3 マジックドア2 働く自分をイメージしてみよう			個人作業・グループディスカッション	
3	パート3 マジックドア3 自分が最大限に生きる働き方とは			個人作業・グループディスカッション	
4	パート3 マジックドア4 将来を描いてみよう			個人作業・グループディスカッション	
5	パート3 マジックドア5 夢実現への第一歩を踏み出そう			個人作業・グループディスカッション	
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
出席率80% 授業態度20% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			就職直後、数年後、未来・・・の目標を描かせることで、ポジティブな気持ちを継続させる。		
実務経験教員の経歴	葬祭ディレクターとして現場に8年間携わった。				

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	ソフトウェア活用実習Ⅲ				
担当教員	小林 美江		実務授業の有無	×	
対象学科	全科	対象学年	卒年次生	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数		時間数	30
授業概要、目的、授業の進め方	データ入力、表計算、グラフ作成、データベース検索のスキルを学び、E X C E L 検定初級を受検する。				
学習目標 (到達目標)	サーティファイ エクセル文書処理能力検定3級 合格				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	サーティファイ E X C E L 2 0 1 6 クイックマスター基本編 エクセル文書処理能力検定3級問題集				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1 2 3	エクセルの基本 データの編集 表の編集		実習		
4 5 6	ブックの印刷 グラフと図形の作成 ブックの利用と管理		実習		
7 8 9	関数 データベース機能		実習		
10 11 12	練習問題 1		実習		
13 14 15	練習問題 2 3		実習		
16 17 18	模擬問題 1 2		実習		
19 20 21	模擬問題 3 4		実習		
22 23 24	模擬問題 5 6		実習		
25 26	模擬問題 7 苦手箇所の練習		実習		
27 28	サンプル問題 事前対策		実習		
29 30	エクセル検定3級受検				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
出席率70% 学習意欲10% 検定合格20% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			復習をメインに模擬問題を確実なものにすることで、検定合格に結びつく為、モチベーションをキープするよう考慮する。		
実務経験教員の経歴					

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	宿泊実務Ⅱ				
担当教員	渡邊 恵		実務授業の有無	○	
対象学科	ホテル・ブライダル科	対象学年	2	開講時期	通年
必修・選択	選択	単位数		時間数	90（前55、後35）
授業概要、目的、授業の進め方	1.1年次で学んだフロント・サービスの基礎知識の復習とフロント・オフィスの業務内容を理解する。				
学習目標 (到達目標)	1.宿泊関連業務を理解し、実践的な実務を可能にする。				
テキスト・教材・参考 図書・その他資料	ホテルテキスト 宿泊Ⅰ&Ⅱ フロント・サービス編、フロント・オフィス編				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1～5	フロント・サービスの仕事（ドアマン、ベルマンの仕事内容）		フロント・サービス編、教科書P 2～36		
6～9	フロント・オフィスとは		フロント・オフィス編、教科書P 2～10		
10～14	リザーベーション業務		フロント・オフィス編、教科書P 14～25		
15～18	リザーベーション業務		フロント・オフィス編、教科書P 25～30		
19～22	レセプション業務		フロント・オフィス編、教科書P 31～34		
23～26	レセプション業務		フロント・オフィス編、教科書P 31～34		
27～30	レセプション業務		フロント・オフィス編、教科書P 31～34		
31～34	フロント研修（ホテルイタリア軒にて実践研修）		各グループに分かれてホテルにて研修		
35～38	フロント研修（ホテルイタリア軒にて実践研修）		↓		
39～42	フロント研修（ホテルイタリア軒にて実践研修）				
43～46	フロント研修（ホテルイタリア軒にて実践研修）				
47～50	フロント研修（ホテルイタリア軒にて実践研修）				
51～55	前期テストを実施、まとめ				
56～59	レセプション業務実践		フロント・オフィス編、教科書P 62～72		
60～63	レセプション業務実践		フロント・オフィス編、教科書P 62～72		
64～67	フロントキャッシャー業務		フロント・オフィス編、教科書P 72～79		
68～71	フロントキャッシャー業務		フロント・オフィス編、教科書P 72～79		
72～75	フロントキャッシャー業務		フロント・オフィス編、教科書P 80～89		
76～79	フロントキャッシャー業務		フロント・オフィス編、教科書P 80～89		
80～83	インフォメーション業務		フロント・オフィス編、教科書P 91～98		
84～87	インフォメーション業務		フロント・オフィス編、教科書P 91～98		
88～90	後期テスト実施、まとめ		実践テスト		

評価方法・成績評価基準	履修上の注意
<p>出席率20% 授業態度10% 試験50%、レポート20%</p> <p>成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。</p>	<p>ホテルイタリア軒でのフロント研修を受け、フロント業務、ハウスキーピング、営業企画の業務内容を理解する。</p>
<p>実務経験教員の経歴</p>	<p>客船乗務員（サービス全般）に6年間携わった</p>

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	ホテル英会話 II				
担当教員	藤田愛子		実務授業の有無	なし	
対象学科	国際ホテル科/ホテル・ブライダル科	対象学年	2・3年	開講時期	通年
必修・選択	選択	単位数		時間数	25
授業概要、目的、授業の進め方	1.外国人と話すことに慣れる。英会話の楽しさを知り、表現を多く身につける。				
学習目標 (到達目標)	1.接客業界への就職が主なので、外国人への接客用語や日常会話が理解できるようになる。				
テキスト・教材・参考 図書・その他資料	Hotel and Hospitality English				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1.2	ホテル用語の基本単語を学ぶ。		テキストに沿って進める		
3.4	必要な文法・単語・発音を学ぶ。				
5.6	連音の発音方法や数字、宿泊部での電話やEメールの表現を学ぶ。				
7.8	宿泊部でのスタッフの業務内容を学ぶ。				
9.10	ペアワークで発音練習を行う。		テスト実施		
11.12	リスニングで聞き取ることができ、書ける。				
13.14	宿泊部での接客表現を学ぶ。				
15.16	ペアワークで発音練習を行う。		テスト実施		
17.18	宿泊部でスタッフ・接客表現の復習。		テキストに沿って進める		
19・20	ロールプレイをしながら定着させる。		テスト実施		
21・22	期末テスト対策				
23.24	期末テスト		テスト実施		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
授業態度40% 試験60%					
成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			テキストを中心に学び、単語テストも適宜行う。		
実務経験教員の経歴	外資系ホテル勤務経験あり、英会話講師経験あり				

②

国際ホテル・ブライダル専門学校

科目名	世界遺産検定対策			
担当教員	藤田 愛子	実務授業の有無	×	
対象学科	国際ホテル科	対象学年	3年	開講時期
必修・選択	必修	単位数		時間数
授業概要、目的、授業の進め方	世界各国からお越しになるお客様との会話を広げ、異文化を理解するために世界遺産を中心に。テキストを中心にすすめ、検定合格を目指す。			
学習目標 (到達目標)	世界遺産検定 3級合格			
テキスト・教材・参考図書・その他資料	世界遺産検定 公式テキスト ガイドブック			
回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・イ		
1.2	世界遺産の基礎知識	世界遺産検定 公式テキスト ガイドブ、		
3.4	日本の世界遺産			
5.6	人類の誕生と古代文明			
7.8	アジア世界の形成と文明			
9.10	ヨーロッパ ルネサンス・大航海時代			
11.12	アメリカ・オセアニアの文化			
13.14	近代国家の成立			
15.16	まとめ			
17.18	過去問題	過去問題集		
19.20	過去問題	過去問題集		
評価方法・成績評価基準		履修上の注意		
試験評価80%、学習意欲20% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。		暗記中心にならないようにする。写真やYoutub		
実務経験教員の経歴	外資系ホテル勤務経験あり、英会話講師経験あり			

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	TOEICⅢ (Listening)				
担当教員	藤田 愛子		実務授業の有無	×	
対象学科	国際ホテル科	対象学年	3年	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数		時間数	10
授業概要、目的、授業の進め方	<p>2年次にも学習した範囲であるが、最高点を取るためにも今一度復習を兼ねながら発展的な問題や表現に取り組む。TOEICの発展問題を解きながら、650点を目指す。ビジネスシーンで活かせる表現や発音の習得をする。</p> <p>1、スピードになれる。リンキングを耳にならす。</p> <p>2、良く出題される単語や熟語の暗記や実際に自分で英文を読み上げる</p>				
学習目標 (到達目標)	TOEICの基本を知り、650点を目指す。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	TOEIC L&R TEST対策 650点コース (TAC)				
回数	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考	
1～2	Part1 写真描写問題 問題形式を把握する			CDを使いながら問題を解き、解説する P45～	
3～4	Part2 First Speakerの発音のタイプを知ろう			CDを使いながら問題を解き、解説する P57～	
5～6	Part3 会話問題			CDを使いながら問題を解き、解説する P69～	
7～8	Part4 説明文問題			CDを使いながら問題を解き、解説する P81～	
9～10	期末テスト・振り返り			過去問題にチャレンジ	
評価方法・成績評価基準				履修上の注意	
<p>Listening定期試験80%、学習意欲20%</p> <p>成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。</p>				<p>TOEICの基本は各自復習をさせるべきで、時間をかけないように進める。発展的な問題を解くためのテクニックや弱点を改善させるために時間を取るようにする。</p>	
実務経験教員の経歴	外資系ホテル勤務経験あり、英会話講師経験あり				

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	TOEICⅢ (Reading)				
担当教員	藤田 愛子		実務授業の有無	×	
対象学科	国際ホテル科	対象学年	3年	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数		時間数	10
授業概要、目的、授業の進め方	<p>2年次にも学習した範囲であるが、最高点を取るためにも今一度復習を兼ねながら発展的な問題や表現に取り組む。TOEICの発展問題を解きながら、650点をを目指す。ビジネスシーンで活かせる表現や発音の習得をする。</p> <p>1、Part 5で得点をあげるために、単語ごとに品詞の理解をする。</p> <p>2、良く出題される単語や熟語の暗記や実際に自分で英文を読み上げる</p>				
学習目標 (到達目標)	TOEICの基本を知り、650点をを目指す。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	TOEIC L&R TEST対策 650点コース (TAC)				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1～4	Part 5	問題形式を把握しよう 時制 自動詞・他動詞 分詞など	問題集の問題を中心に解いて、解説する P 9 5～		
5.6	Part 6	特に出やすい文法項目をおさえよう 動詞の語形変化	問題集の問題を中心に解いて、解説する P 1 6 3～		
7.8	Part 7	解答の手順を理解し、テクニックを知る	問題集の問題を中心に解いて、解説する P 1 7 7～		
9・10	期末テスト		過去問題にチャレンジ		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
<p>Reading定期試験80%、学習意欲20%</p> <p>成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。</p>			<p>TOEICの基本は各自復習をさせるべきで、時間をかけないように進める。発展的な問題を解くためのテクニックや弱点を改善させるために時間を取るようにする。</p>		
実務経験教員の経歴	外資系ホテル勤務経験あり、英会話講師経験あり				

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	English Expression III				
担当教員	藤田 愛子		実務授業の有無	×	
対象学科	国際ホテル科	対象学年	3年	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数		時間数	155
授業概要、目的、 授業の進め方	<p>課題を決め、英語でのプレゼンテーションを行う授業 プレゼンテーションコンテスト 本選出場を目指す ①3つの課題からひとつに絞るための調べ学習・訪問聞き取りを行う、ディスカッション ②日本語での企画書作成・台本作成 ③英文でのプレゼン作成・パワーポイント作成 ④プレゼンをいろいろな立場の人に聞いてもらい評価をもらう</p>				
学習目標 (到達目標)	プレゼンテーションコンテスト 本選出場 (600校中50校に選ばれる)				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	なし				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1～10	過去のテーマから傾向や必要なデータを共有する 調べ学習		PCを使用し、各団体や企業のHPを参考に進める		
11～13	各自のプレゼン① 問題点・疑問点				
14～16	大会のプレゼンテーマの発表を受けて、内容を理解する				
17～20	ひとりずつテーマを決め、基礎データ・材料を集める				
21～47	各自のプレゼン② 調べ学習 テーマ決定				
48～73	企画書の作成・台本を日本語で作成する				
74～97	日本語での台本をチェック・データの調査				
98～115	英語への翻訳や予選への準備開始・パワーポイント準備				
116～155	プレゼン練習 (英語表現の強化・暗記・ユニークな演出・話題)				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
学習意欲90% 大会審査員評価10% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			はじめての挑戦のため、しっかりとしたスケジュールをたて臨む。 テーマのプロから話を聞き、理解を深める工夫が必要。		
実務経験教員の経歴	外資系ホテル勤務経験あり、英会話講師経験あり				

科目名	Contemporary English (時事英語)			
担当教員	藤田 愛子	実務授業の有無	×	
対象学科	国際ホテル科	対象学年	3年	開講時期
必修・選択	必修	単位数		時間数
授業概要、目的、授業の進め方	英語の記事を読み、理解をする。その記事の主張に対して、自分の意見を英語で述べる。事前に新聞記事を配布し、予習をする。 意見を持たないといわれる日本人だが、発言するときの基本英語を身に付け、臆することな伝えられるようになる。			
学習目標 (到達目標)	英文記事を読み、主張をとらえることができる。主張に対して、自分の意見を言える。			
テキスト・教材・参考図書・その他資料	The Japan Times などの英字新聞			
回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・授業		
1~2	The Japan Times から選んだ記事に意見を述べる。文法のチェック、発音のチェックも行う。(日本の観光について)	オンライン新聞から記事を選び、事前に配		
3~4	The Japan Times から選んだ記事に意見を述べる。文法のチェック、発音のチェックも行う。(日本の文化について)			
5~6	朝日新聞DIGITAL から選んだ記事に意見を述べる。文法のチェック、発音のチェックも行う。(SDG sについて)			
7~8	朝日新聞DIGITAL から選んだ記事に意見を述べる。文法のチェック、発音のチェックも行う。(SDG sについて)			
9~10	NHK World から選んだ記事に意見を述べる。文法のチェック、発音のチェックも行う。(異文化について)			
11~12	NHK World から選んだ記事に意見を述べる。文法のチェック、発音のチェックも行う。(地域文化について)			
13~15	期末テスト・振り返り			
評価方法・成績評価基準		履修上の注意		
定期試験20%、学習意欲80% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。		記事について大きく取り上げられている内容だやその後の展開を予想しながら主張をくみ取る、する必要がある。		
実務経験教員の経歴	外資系ホテル勤務経験あり、英会話講師経験あり			

学校 シラバス

前期

15

く自分の意見を

備考

配布し予習する

けでなく、その背景
。社会的背景も学習

科目名	Dramatic Production II (演者・プレゼン表現)			
担当教員	藤田 愛子	実務授業の有無	×	
対象学科	国際ホテル科	対象学年	3年	開講時期
必修・選択	必修	単位数		時間数
授業概要、目的、授業の進め方	<p>スピーチ文や劇を自分たちなりにまねたり演出したりする。英文をただ読むのではなく、場で読み分ける力をつける。さらにグループワークを通じて、スピーチ文や劇を組み立てるこしていなければできない構成力や役になりきり表現する力を磨く。</p> <p>伝わりやすい表現や抑揚、発音を習得し、スティーブジョブズや米国大統領のように表情豊TEDを使い、周りを引きこむ工夫を体感しながら、真似をすることから始める。</p>			
学習目標 (到達目標)	英語プレゼンテーションコンテストの練習や本番で表現力を担当者や審査員から褒められる			
テキスト・教材・参考図書・その他資料	TED、各種ビデオ教材			
回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・イ		
1.2	レベルチェック・チーム分け・introduction	TED		
3.4	TED① 読み取るための英語理解・注意点の共有・練習			
5.6	発音・抑揚チェックを受けながら練習			
7.8	グループ練習・リハーサル			
9.10	発表			
11.12	TED② 読み取るための英語理解・注意点の共有・練習			
13.14	発音・抑揚チェックを受けながら練習			
15.16	グループ練習・リハーサル			
17.18	発表			
19.20	寓話① 読み取るための英語理解・注意点の共有・練習	日本の昔話・グリム童話などの寓話		
21.22	発音・抑揚チェックを受けながら練習			
23.24	グループ練習・リハーサル			
25.26	グループ練習・リハーサル			
27.28	期末テスト			
29.30	期末テスト・振り返り			
評価方法・成績評価基準		履修上の注意		
発表評価80%、学習意欲20%				
成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。		やりやすい役柄ばかり選ぶのではなく、異性や場の人物を選ぶことで表現の幅が広がる。		
実務経験教員の経歴	外資系ホテル勤務経験あり、英会話講師経験あり			

科目名	Discussion II			
担当教員	藤田 愛子	実務授業の有無	×	
対象学科	国際ホテル科	対象学年	3年	開講時期
必修・選択	必修	単位数		時間数
授業概要、目的、授業の進め方	ひとつの物事をいろいろな側面から見る力をつける。答えは一つではなく、立場や状況によつて理解し、できないと決めつけるのではなく、できる方法を考え、アドバイスする前向きける。			
学習目標 (到達目標)	相手を否定せず、相互理解をする。			
テキスト・教材・参考図書・その他資料	なし			
回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・復習		
1.2	お題①自分の思いや意見をブレーストーミングする。 意見や感想を言いながら相手の意見や考えを聞く。			
3.4	聞くこと、受け入れることについて話し合う。			
5.6	お題②自分の思いや意見をブレーストーミングする。 意見や感想を言いながら相手の意見や考えを聞く。			
7.8	お題②自分の思いや意見をブレーストーミングする。 意見や感想を言いながら相手の意見や考えを聞く。			
9.10	お題③自分の思いや意見をブレーストーミングする。 意見や感想を言いながら相手の意見や考えを聞く。			
11.12	お題③自分の思いや意見をブレーストーミングする。 意見や感想を言いながら相手の意見や考えを聞く。			
13.14	お題④自分の思いや意見をブレーストーミングする。 意見や感想を言いながら相手の意見や考えを聞く。			
15.16	お題④自分の思いや意見をブレーストーミングする。 意見や感想を言いながら相手の意見や考えを聞く。			
17.18	Discussionで大切なことについて話し合う。まとめる。			
19.20	Discussionのコーディネーターを学生がする準備。			
21.22	お題⑤自分の思いや意見をブレーストーミングする。 意見や感想を言いながら相手の意見や考えを聞く。			
23.24	お題⑤自分の思いや意見をブレーストーミングする。 意見や感想を言いながら相手の意見や考えを聞く。			
25.26	グループでお題を決め、円滑にDiscussionを進められるよう準備する。			
27.28	お題⑥自分の思いや意見をブレーストーミングする。 意見や感想を言いながら相手の意見や考えを聞く。			

29.30	<p>お題⑦自分の思いや意見をブレーストーミングする。 意見や感想を言いながら相手の意見や考えを聞く。</p>	
<p>評価方法・成績評価基準</p>		<p>履修上の注意</p>
<p>発表評価80%、学習意欲20%</p> <p>成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。</p>		<p>相手を否定することや常識で判断することは必</p>
<p>実務経験教員の経歴</p>	<p>外資系ホテル勤務経験あり、英会話講師経験あり</p>	

要ない。

科目名	中国語検定対策			
担当教員	藤田 愛子	実務授業の有無	×	
対象学科	国際ホテル科	対象学年	3年	開講時期
必修・選択	必修	単位数		時間数
授業概要、目的、授業の進め方	ホテルスタッフとして中国からのお客様にもスムーズに対応できる語学力を付ける。 中国語の基礎会話や読み書きができる。 テキストも用いながら、反復練習を行う。			
学習目標 (到達目標)	中国語検定準4級合格			
テキスト・教材・参考図書・その他資料	新・ゼロから学ぶ中国語 検定試験合格への道のり 中国語検定試験問題集			
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・復習	
1.2	第1課 人称代名詞・名前の尋ね方と答え方・文末動詞		新・ゼロから学ぶ中国語 検定試験合格への道のり	
3.4	第1課 人称代名詞・名前の尋ね方と答え方・文末動詞			
5.6	第2課 判断を表す文、副詞、疑問詞疑問文			
7.8	第2課 判断を表す文、副詞、疑問詞疑問文			
9.10	第3課 指示代名詞、紛らわしい語の区別、			
11.12	第3課 指示代名詞、紛らわしい語の区別、			
13.14	第4課 動詞・助動詞			
15.16	第4課 動詞・助動詞			
17.18	第5課 助数詞・家族の呼び方			
19.20	第5課 助数詞・家族の呼び方			
21.22	第6課 形容詞の文 反復疑問文			
23.24	第7課 時刻表現・前置詞			
25.26	第8課 曜日の言い方・年齢の尋ね方			
27.28	第9課 動詞の重ね方 金額の言い方			

29.30	第10課 存在を表す語・連動文	
31.32	第11課 助動詞 過去問題	
33.34	第12課 現在進行形 過去問題	中国語検定対策 過去問題
35.36	第13課 前置詞 過去問題	
37.38	第14課 助動詞 過去問題	
39.40	第15課 未来形 一問一答 過去問題	
41.42	検定対策 過去問題	
43~45	検定対策 過去問題 期末テスト	
評価方法・成績評価基準		履修上の注意
定期テスト80%、学習意欲10% 検定結果10% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。		昨年、中国語の勉強を10時間受講している。
実務経験教員の経歴		外資系ホテル勤務経験あり、英会話講師経験あり

科目名	卒業制作				
担当教員	馬場 秀憲		実務授業の有無	○	
対象学科	全科	対象学年	卒年次生	開講時期	後期
必修・選択	選択	単位数		時間数	140
授業概要、目的、授業の進め方	業界が持つ、課題等を見つけ、それに対する企画を考え、提案していく。] イベントを通して、学年全体のつながりや、プランニング力、プレゼン力、チームワークなど実践を通して身につけ、イベントを実施する				
学習目標 (到達目標)	卒業制作発表会で、保護者や企業に発表する				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	なし				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1.2	先輩方の卒業制作を見て、自分たちの姿を想像する				
3～6	自分たちの卒業制作をどうしていくか、一人ひとり考える				
7～10	卒業制作にふさわしいと思うテーマについて、グループに分かれて考える				
11～14	各グループごとに、テーマにふさわしいと思う内容をパワポで発表する。卒業制作のテーマの希望を取る				
15～18	卒業制作のテーマと新グループを発表し、これからのスケジュールを伝える				
19～22	各グループで、テーマに沿った現状や取り組みを調査する				
23～26	各グループで、調査した現状をふまえ、企画を考える				
27～30	第1回 企画発表会+報告書チェック				
31～34	発表内容と報告書の修正				
35～38	企業や団体などをリストアップし、現状や取り組みについてのアンケートや調査を行う				
39～42	第2回 企画発表会+報告書チェック				
43～46	発表内容と報告書の修正② 実行委員は招待状+招待客リストアップ、タイトルとロゴ作成				
47～50	中間発表会の準備 (台本+パワポ)				
51～54	中間発表会 (各グループの発表内容を共有する)				
55～58	年明けのスケジュールや進め方 (新グループ、メンバー) を全体で共有する				
59～62	各グループは報告書完成させる。当日の会場装飾の準備を始める 実行委員は招待客のリストを作成する				
63～66	当日の発表に必要な台本+パワポを作成する				
67～70	当日の会場で、本番のイメージをつかむ				
71～74	台本+パワポの修正。完成。				
75～78	台本見ながら全体リハーサルを行い、他のグループ発表を聞いて、卒制全体のイメージをつかむ				
79～84	全体リハーサルの準備を始める (台本とパワポのタイミングを合わせる)				

85～90	企業の方に企画や発表を見ていただき、内容をより精査する 全体リハーサルの準備を行う（前後のつながりを考える）	
91～96	全体リハーサルを行い、卒制全体の流れを一人ひとりがつかむ	
97～102	全体リハーサルの準備を行う（聞いている人に伝わる話し方を意識しよう）	
103～120	全体リハーサル（本番をイメージしながら）	
120～125	1年生本番→振り返り、修正	
126～131	新入生本番→振り返り、修正	
132～137	企業、保護者本番	
138～140	振り返り（個人シート、グループ、実行委員他）	
評価方法・成績評価基準		履修上の注意
卒制実施30%、出席率40%、学習意欲（授業態度）30% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・F(59点以下)とする。※F評価者は追試合格後、D評価となる。		業界の現状を調査し、課題を見つけ、それに対する提案を考えていきます。学生ならではの視点を重視し、実現可能かどうかも含めて、大人の意見を聞きながら進めていきます。自分たちの考えをまとめ、発信し、業界をよりよくするための発表を行います。
実務経験教員の経歴	葬祭ディレクターとして現場に8年間携わった。	

②

国際ホテル・ブライダル専門

科目名	中国語会話			
担当教員	渡邊 恵		実務授業の有無	なし
対象学科	ホテル・ブライダル科	対象学年	2年	開講時期
必修・選択	選択	単位数		時間数
授業概要、目的、授業の進め方	1. 中国語の発音を理解し、発音できる 2. ホテルやレストランで聞かれる、伝えることを中心に会話ができる 3. 道を聞く、答えられる			
学習目標 (到達目標)	自己紹介、数字の聞き取り、簡単な案内ができるようになる			
テキスト・教材・参考 図書・その他資料	中国語 はじめの一步			
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・仕	
1・2	中国語の発音 復習		テキスト・発音の反復と単語テスト	
3・4	自己紹介文・発表			
5・6	人称代名詞;“是”の文			
7・8	人称代名詞;“是”の文			
9・10	指示代名詞;疑問詞疑問文;“的”の用法;			
11・12	指示代名詞;疑問詞疑問文;“的”の用法;			
13・14	副詞			
15・16	副詞			
17・18	動詞の文			
19・20	動詞の文			
21・22	「所有」を表わす“有”〔ほか〕			
23・24	「所有」を表わす“有”〔ほか〕			
25・26	物の数え方・ホテル・レストランで使うフレーズ			
27・28	総復習			↓
29・30	期末テストと振り返り			
評価方法・成績評価基準			履修上の注意	
定期試験80%、学習意欲20%			中国語を学ぶことが初めての学生が多いため、	

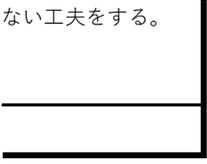
成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。

違いやすいところを含めて伝え、勘違いが起き

実務経験教員の経歴

外資系ホテル勤務経験あり、英会話講師経験あり

ない工夫をする。



②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名		サービステクニク			
担当教員	渡邊 恵		実務授業の有無	なし	
対象学科	ホテル・ブライダル科	対象学年	2	開講時期	通年
必修・選択	選択	単位数		時間数	30 (前20、後10)
授業概要、目的、授業の進め方	ロシアンサービスを実技を通して学んでいきます。様々な食材の知識、そして経費についても意識しながら技術を習得していきます。さらには、その技術がイベントやサービスコンクールへつながるよう意識づけしていきます。				
学習目標 (到達目標)	ロシアンサービス（ゲリドンサービス）の技術を食材を使い、実技を通して学ぶ。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	配布資料、ナイフ等				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1、2	ゲリドンサービスの魅力を伝え、動機付けを行う。 オレンジカービングを行う		過去のサービスコンクール動画		
3、4	オレンジ&キウイカービング				
5、6	オレンジ&レモンカービング チェリージュビレ（3～4名ずつ実施）				
7、8	キウイ&グレープフルーツカービング チェリージュビレ（3～4名ずつ実施）				
9、10	リンゴのカービング チェリージュビレ（3～4名ずつ実施）				
11、12	パイナップルのカービング チェリージュビレ（3～4名ずつ実施）				
13、14	フルーツデコレーション チェリージュビレ（3～4名ずつ実施）		イチゴ、リンゴ、キウイの飾り切りと ソースの盛り付け方法		
15、16	ドレッシングの作成、サラダの作成 チェリージュビレ（3～4名ずつ実施）				
17、18	オリジナルディッシュ作成のための練習				
19、20	確認テスト（オリジナルディッシュ作成）				
21、22	前期技術振り返り（オレンジカービング） サービスコンクール学内選考会の動機付け				
23、24	カービング練習&シェイク練習				
25、26	カービング練習&シェイク練習（確認テスト含む）				
27、28	学内選考会				
29、30	振り返り				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
確認テスト30%、出席率40%、学習意欲（授業態度）30% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・F(59点以下)とする。※F評価者は追試合格後、D評価となる。			ロシアンサービス（ゲリドンサービス）の技術をナイフ等を使って身につけていきましょう。様々な食材によってナイフの扱いは変わります。それを、実際に食材に触れることで体験してください。客前で行うことを前提に所作や身のこなしも大切です。 そして、学内選考は全員で取り組み、コンクール出場の有無にかかわらず外部審査員（市内ホテル）の方々に見ていただき、自身の成長を評価していただきましょう。		
実務経験教員の経歴	客船乗務員（サービス全般）に6年間携わった				